

新型コロナウイルス感染 緊急事態宣言発令に伴う
診療体制変更と当院の方針について

通院されている患者様におかれましては、様々な不安をかかえておられることと思ひます。この度の緊急事態宣言の発令を受け、診療体制の変更と当院の方針を更新致しました。どうぞ理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、当院の方針は日本生殖医学会、日本産科婦人科学会の発表を基に当策定しております。

[新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する日本生殖医学会からの声明](#)

（日本生殖医学会 2020年4月1日版）

[新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（第三版）](#)

（日本産科婦人科学会 2020年4月7日版）

1. 診療体制変更について

平日は通常通り診療を継続いたします。土曜日は「ソーシャルディスタンス」（他者との距離を確保する）が可能な状況をつくるため、一般不妊外来の診療枠を一部縮小致します。今周期の治療を継続されるか、あるいはお休みされるかについては、患者様お一人お一人で事情も異なると思ひますので、患者様の意志を尊重します。迷われる方は、スタッフ一同で相談に乗る体制をとりますので、最終的には患者様ご自身でご判断いただきますようお願い致します。

2. 当院では今後も感染防止に最大限の努力を続けてまいります。

A. 治療継続をご希望の患者様にご協力いただきたいこと

- 緊急事態宣言に基づき不要不急な外出を自粛していただくようお願いいたします。
- 来院時に必ずマスクの着用をお願いいたします。
- クリニック入り口やカウンター、相談室等に殺菌消毒薬を設置しています。必ず手指消毒をお願いいたします。
- 待合室の椅子の間隔を広げています。ソーシャルディスタンスを保つことに努めてください。
- 少しでも発熱・倦怠感・咳・味覚障害・嗅覚障害などの体調不良がある場合は、来院をお控え下さい。

B. リスク軽減のための当院の方針

- 医療法人鉄蕉会グループの新型コロナウイルス感染対策本部と随時、情報を共

有し様々な方向から患者様にとって有益な情報を収集する体制を整えています。また日本産科婦人科学会・日本生殖医学会の声明の更新を適宜受け止め、治療方針を更新してまいります。

- 感染予防対策については、日本環境感染学会のガイドラインに従った対策を行います。
- 新型コロナウイルス感染者と濃厚接触したスタッフに関しては、新型コロナウイルス感染対策本部の指示に従い、症状がなくても自宅待機といたします。
- スタッフはマスクを着用、適切かつ頻回の手指衛生を行い、濃厚接触の回避を徹底いたします。
- 患者様の健康状態をチェックいたします。
- スタッフと患者様のやりとりはメールや電話で代替できるものは切り替えて参ります
- オンライン診療や電話診療で対応できる診療部分を随時変更していきます。
- 受診回数をできるだけ減らす等、患者様が当院にいる時間を短くする努力をいたします。
- 混雑する土曜日のソーシャルディスタンス確保のため
 - ・妊娠中の方は、土曜日の来院をできる限り避けてください。
 - ・一般不妊（B 枠）の方の土曜日の当日予約は原則お受けいたしません。
- 待ち時間を短くするため、川井医師は患者様の診察を優先し、超音波のみ他の医師が診る可能性がございます。
- 鍼治療、キッズルームのご利用については患者様とスタッフが長時間接触する可能性があるため、当面の間は利用を休止させていただきます。

C. 不妊治療に対する方針

- 排卵誘発、人工授精、体外受精などの治療については、状況が落ち着くまで延期するかどうかを個別にご相談をさせていただき、検討致します。
- がんでの妊孕性温存治療（受精卵・卵子・精子凍結）は引き続き継続いたします。
- 緊急性がないと判断される治療（胚移植など）は延期をご提案させていただくことがあります。
- 既に予定されている手術・処置は現段階では予定通り実施いたします。延期希望の場合などは個別にご相談ください。

D. 培養室の管理方法

- 培養室の全ての品質管理を行う必要な胚培養士は通常通り勤務を継続いたし

ます。

- 胚培養士が疾病、新型コロナウイルスに罹患、もしくは隔離措置が必要な場合に備え、亀田総合病院・亀田 IVF クリニック幕張の培養チームを分け相互補完できる体制を構築しております。
- 患者様と胚培養士の直接的なやりとりは最低限にさせていただきます。
- 培養室と外来との検体の受け渡しはパスボックスを使って行う等、外来スタッフと胚培養士の直接的なやりとりを最低限にいたします。

E. 潜伏期間であったために、後になって新型コロナウイルス感染者の培養処理を行なったと判明した場合

- 新型コロナウイルス感染者から採取した検体を取り扱った培養室は、本ウイルスに対する使用基準を満たす消毒剤で消毒します。
- 新型コロナウイルス感染が疑わしい患者様から採卵などを行なった場合、インキュベーターや凍結タンクなども別途分けられるよう別途使用機材を準備いたします。

私たちは患者様の安全の確保を何よりも優先に考え、そのうえでより良い医療を継続的に提供できるように取り組んで参ります。できる限り緊急の患者様を優先できるよう対策を検討させていただく可能性がございますのでご了承ください。本方針は、状況に応じて適宜アップデートさせていただきます。

2020年4月7日

医療法人鉄蕉会 亀田 IVF クリニック幕張 院長 川井清考
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 新型コロナウイルス対策本部長 細川直登